



公益財団法人 国際労働財団

Japan International Labour Foundation

2023年6月

# 第8回【2023年度】 JILAFグローバル人材養成研修参加者募集



JILAFは、1996年から約20年間にわたり「JILAF国際活動家養成コース」として、労働組合関係者を対象に国際労働運動を担う人材育成コースを開催してきました。2016年度からは名称を「グローバル人材養成研修」に改名し、より参加しやすく、より効果的な内容に更新しました。また、今年度はエントリーコースを日程・内容ともに拡充しています。

国際労働運動等で活躍できる人材が一層求められる中、この研修では、国際活動に必要な英語力を実践的かつ体系化した手法で学ぶとともに、JILAF事業とも連携したグローバルな視点で知識・経験を深めていくことをねらいとしています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止等の観点から、原則、オンライン形式とし、対面研修を組み合わせたハイブリッド方式にて開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症の状況、および昨年度の研修成果をふまえ、昨年度と同じく、原則オンライン形式かつ対面研修を組み合わせたハイブリッド方式とします。

国際労働運動での活躍を希望される方、または、期待される方からの積極的な参加をお願いします。



## 【アドバンスコース 全10回】

■期間：2023年10月～2024年1月

### (1) 英語研修

K/Hシステム(注)の英語学習法に基づき、国際的な組合リーダーとして、組合の活動の現場で、効果的で、かつ社会人としての品格を備えた英語コミュニケーション力を養成します。実践英語力に不可欠な基盤と、論旨が明快でクリアなコミュニケーションに必須の要素を学ぶと同時に、プログラム修了後も効果的に継続学習する方法を習得します。異文化の相手に、日本の労働組合運動と労使関係を効果的に説明できることを狙った教材パッケージを使うことで、英語力を強化するだけでなく、外から見た「日本の労働組合運動の特徴」についても学べます。

「アドバンスコース」のみの参加希望者でも、講師が必要と判断した方（TOEIC650点未満程度の方等）には、「エントリーコース」から参加していただきます。

#### (注) K/Hシステムとは？

同時通訳として経験豊富な国井信一・橋本敬子両氏が独自に開発し、指導する英語学習システムです。英語の効果的勉強方法を体系的に教え、英語力のブレイクスルーを体験できます。

具体的には、英語の「音自体の聞き取り」と「意味の聞き取り」を分割して教え、かつ英語の文を組み立てるエッセンスを身につけさせることで、リスニング・スピーキングの両方が同時に強化されます。また、それぞれの英語能力に応じて、ステップバイステップで体系的に学ぶことができます。

K/Hシステムには、25年を超える実績があり、これまでに1万人以上の国際的なビジネスパーソン、政府関係者、社内通訳をこのシステムで養成してきました。本コースでは、両講師がJILAFのために開発した、労働運動分野を中心にした内容の教材と、仕事で使う英語教材を使用します。

\*このコースの参加者には別途ご案内する、事前学習教材に基づくレポートを提出していただきます。

(全体構成)

#### 集中研修

月に2～3回程度の研修日があり、コース全体では約3ヵ月間で計10回程度の研修を実施します。最初のフェーズでは、英語の基盤力と学習法の習得にフォーカスし、第2フェーズで英語のロジックにフォーカスした実践練習を行います。第3フェーズは総合練習で、ミニプレゼンと質疑応答・簡単なミーティング練習も行います。

#### 個別フォローアップ

研修期間中は、個別の目標と英語力に合わせて、自主学習のメニューを作り、個別に学習サポートすることで、英語のコミュニケーション能力の向上をめざします。

#### 修了判定

全体のまとめとして、中間発表会と最終発表会（簡単なメモをベースにスピーキング＋質疑応答）を行い、この英語コースの目標とする英語のコミュニケーション力が達成されているかどうかを確認します。この成果確認をもって、グローバル人材養成研修での英語プログラムの修了と判定します。

### (2) 労働講義

全参加者を対象に、JILAF役員や国際労働運動専門家を講師として労働講義の研修を行います。

講義テーマは、以下を予定しています。

- ・国際労働運動の基礎知識と用語
- ・日本の労働運動の役割と課題
- ・労働運動を支える法体系
- ・ILOの活動、その他

#### 研修プログラム（スケジュールイメージ）

	10月	11月	12月	1月	2月
エントリーコース (5回)	●●●●● ○開講式				
アドバンスコース (10回)	●● ○開講式	●●●	●●	●●	● 修了
	← 個別フォローアップ →				
	← 労働講義(選択) →				

## 4 対象者

国際労働運動での活躍を希望する方または期待される方

### 必要英語力

エントリーコース：TOEIC400点～650点未満程度

アドバンスコース：TOEIC650点以上またはエントリーコース修了者

\*アドバンスコースのみの参加希望者でも、講師が必要と判断した方（TOEIC650点未満程度の方等）には、エントリーコースから参加していただきます。また、650点以上の場合でも、長く英語に触れることから離れていた方、アドバンスコースでご自身の英語力に応じたきめ細かなフォローをご希望される方はエントリーコースからの受講をお勧めします。

## 5 応募方法と参加費用等

### (1) 応募方法

応募者は、出身組織の推薦により、当該組織を通じてJILAFにお申し込み下さい。

### (2) 研修料金

エントリーコースのみ	1名当たり 3万円
アドバンスコースのみ	1名当たり 15万円
エントリーコースおよびアドバンスコース	1名当たり 18万円

## 6 募集人員

各コース10名以下（最少実施人数6名）

## 7 締切り

2023年8月25日（金）（ただし、締切日前でも定員に達し次第、募集を終了します。）

## 問合わせ先

（公財）国際労働財団 総務・広報・人財グループ

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-15-11 翔和神田ビル5階

電話：03-3525-7120 FAX：03-3525-7124 E-MAIL：soumu@jilaf.or.jp

## 2022年グローバル人材養成研修 修了生からのメッセージ

全国電力関連産業労働組合総連合（電力総連） 久田 恭子



参加のきっかけは、労働組合の国際活動に携わることとなり、英語を少し上達できればという思いからでしたが、そんな淡い気持ちとは裏腹に、研修中の数カ月間は英語漬けの毎日でした。

講義は、英語の勉強法といった基本から始まり、労働組合の理念や歴史、日々の活動について「英語と日本語で知ること」、そしてその知識を人前で「英語で話すこと」に重点が置かれています。

「知ること」については、テキストを使いながら授業で丁寧に教えて頂きます。組合専従者であっても知らなかったことも多く、また、労働組合特有の英単語などをまとめて知ることができたのは大変勉強になりました。

「話すこと」については、まず、学んだ知識を自分の中に落とし込む必要がありますので、自習が必須となります。通勤時間はテキストの音声を毎日聞いて、家では声に出して読む練習をしました。授業では毎回発表があり、都度緊張していましたが、この積み重ねが自分の力になったと思います。

英語が得意な人もそうでない人も、各人のレベルからの成長度がチェックされますので、全員が必死で勉強することとなり、参加者の団結も強まり、発表は緊張するものの毎回授業を楽しみにしていました。

労働組合に特化した英語学習という点では、日本で一番だと思えます。勉強の仕方がわからない方、組合英語を効率よく勉強したい方、読み書きはある程度できるが話すことが苦手な方などに強くお勧めします。

全トヨタ労働組合連合会 小栗 正伍



この研修は英語が嫌い・苦手と感じている方でもぜひ参加すべき研修だと思います。

理由は2つあります。

1つ目は、この研修は「英語力の向上」だけに重きを置いた研修ではないということです。日本の労働運動の歴史や労働組合の成り立ちを学ぶことによって日本の労働組合のあり方を改めて見つめなおし、海外諸国の労働組合との違いについて理解が深まります。同時に日本の建設的な労使関係を世界へ知らせていく必要性を感じられます。

2つ目は、この研修を通して関わった人々との絆です。

この研修は様々な産別や関連団体から受講者が参加されるため、今まで触れたことのない価値観や物事の考え方に触れる良い機会となります。

そして、厳しいカリキュラムを乗り越えるために英語の苦手な私と必死に向き合ってくれた講師や研修のメンバー、仕事を配慮いただいた職場の上司に支えられて、修了したときの達成感は格別でした。この研修で築くことができた関係性は私にとって非常に大きな財産となりました。

もし、受講に迷われているのであれば、ぜひチャレンジすべきです。受講後には自分自身のレベルアップを感じることができると思います。